

予算審議から始める前に

2026年2月3日

講師 今村 寛

兵庫県神戸市生まれ 56歳

元福岡市財政調整課長

そもそも財政って何？

財政が厳しいとは、どう言うこと 予算違えど構造は同じ 構造の話

厳しい財政状況の本質、対処策は同じ

唯一の方策は全体最適を対話で導く

1. 予算審議を始める前に

財政危機宣言が雨後の筍 財政危機宣言 静岡県 盛岡市

財政危機宣言の背景 人件費、物価の高騰

公共施設の後年度負担(公債費)

こんな事態に誰がした

毎年収支不足で基金が枯渇する

毎年 収入の範囲で支出を組むというルールを守れずに

過去の貯金を取り崩して来た ガバナンスの問題

議員の果たす役割は 市民が知っている状態を作る

より良い予算に必要なもの

- ①適切な行政サービスの提供
- ②収支均衡・財政規律の維持
- ③市民の納得性 理解の上に成り立つ

予算審議を始める前に2

議会が予算を審議する理由

行政リテラシーの向上 読み解く力

市民が知りたい事、知っておくべき事を知る力を高める

市民が知りたい事、知っておくべきこととは

財政の基本ルール

- ①収入の範囲に支出を抑える
自治体職員は予算というと自分の使えるお金と思いがち
役所は分業が進んでいるので、お金を使うのは各課

- ②予算は議会を通らないと使えない

収入の大半は市民の皆さんからの税金

議会の議決が必要

議会のチェック市民の納得が得られる使い道であるかどうかのチェックが必要

目の前にいない市民からどう見える

財政の事を知ってほしい

対話の無い議会 きちんと討論しているか

よりよい予算審議のために

対話の鍵を握るのは

議員は市民を代位し議論を代行するアバター

対話が本当に必要なのは誰

必要なのは市民同士の相互理解

議会は市民同士の対話を代行する劇場

その道のプロとして

議員は、市民の行政リテラシー向上のため中の人と市民をつなぐのが仕事

役所が考えていることをフィードバックする事

予算審議を始める前に3

① 予算書なんか読めなくて良い 予算書百科事典

② 数字でなくビジョンを語れ

積算根拠の迷宮に迷い込む ビジョンが大事

③ 予算が余るのは悪いこと 最近では余ると財政調整基金に詰める貯蓄できる

執行率 不用額 質問 決して悪いことではない 余ることは良いこと 褒めるべき

④ 何を削るかではなく何を残すか

⑤ 優先順位は誰がどうやって決める 市役所全体のビジョンが重要

財政課は優先順位をつけていない 下記を元に政策企画で調整

① 総合計画 ② 政策推進プラン

③ 市政取組方針(強化施策、個別調整経費)特に来年度重点的に取り組む事

予算審査のチェックポイント

① アクション事業内容の磨き上げ

個々の施策事業の有効性、効率性の確認

② ビジョン将来像の実現

目指す街の姿への道のり(目標、成果) そのための優先順位

③ フレーム枠組みの堅持

収支の均衡、財政規律、将来負担の確認

削るだけ削るはダメ

予算編成で目指すもの → ありたい姿から考える

やるべきことをやるだけではダメ 目標をしっかり持つ

未来のありたい姿は何か

政策は未来のありたい姿を実現する手法

それってほんとうまくいく

風が吹けば桶屋が儲かる ロジックモデル 論理展開

風が吹いたら本当に桶屋が儲かるのですか？

論理的に因果関係を検証する

所感

未来の声を聴くのは誰か？いい街になったか？

政策実現はありたい姿を目指すこと ありたい姿は現在の市民が描く

未来の市民はそれを求めているのか？など我々地方議員に託された使命は多岐にわたる

その中でも、様々な事業や案件には、お金がかかる。その為には今現状の予算、決算、財政状況がどうなっているかを知ることがとても大切だ。

未来との対話のために未来の市民の立場に立ち、未来の市民に成り代わって現在の意思決定に参画し、

未来の市民が見ているであろう世界を可能な限り予測し、考えられる変化への対応について必要な対策を講じる

決定に至る過程を可能な限り文書で残し、未来の市民が後世に検証できるようにする事の重要性を改めて理解した研修となった。